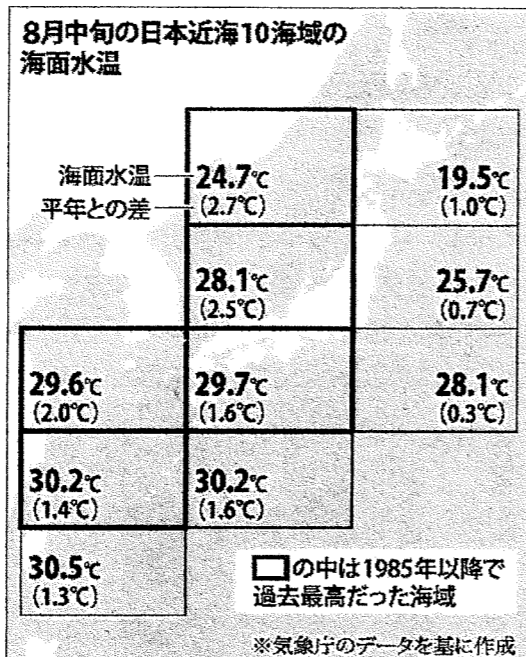


リレー記事 No.86

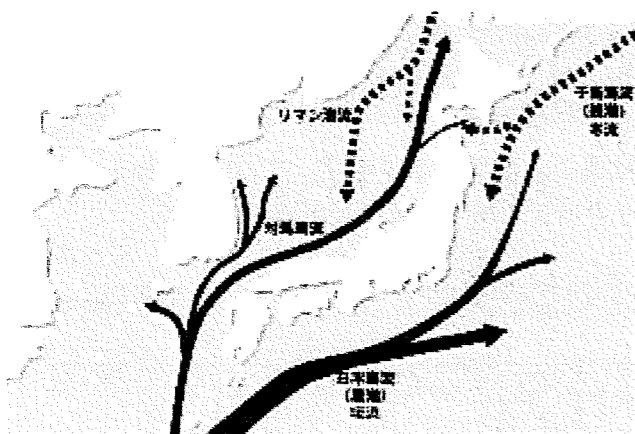
海水の変化

この夏の猛暑で日本近海の海水温が上がり、海の生物に影響がでているようです。日本では対馬が北限とされているサンゴは、生息する場所の最高温度より 2℃上がると白化するそうです。気象庁によると、平年より 3℃高い日が続いており、沖縄ではサンゴの白化現象が確認されています。その他、北海道のサンマ漁で、サンマの代わりにイワシが大量に捕れたり私達の暮らしにも影響がでてきています。



▲毎日JPより

地球表面の7割を占める海は、大量の熱を蓄積し、大気との熱のやり取りを通して気候に大きな影響を及ぼしていると考えられています。IPCC 第4次評価報告書 (IPCC,2007)によると、海洋の約700mより深い層が温暖化してきているそうです。1961年から2003年の間に海洋が蓄えた熱量は、地球上のエネルギー変化量の80%以上を占めており、海洋に蓄えられた熱量のうち、約3分の2が海面から700mまでの海洋表層部分に吸収されたと報告されています。



海流図(独立行政法人 情報処理推進機構)

21世紀に入り、気温上昇率は10年あたり0.03℃とほぼ横ばいの状態をしめしているそうです。一見、温暖化にブレーキがかかったようですが、実は、海が熱を吸収していて、海の深いところでもジワジワと変化が起こっていることとなります。私たちが暮らしの中でできるエコ行動をたゆまず続けていくことが必要です。

《参考資料》 気象庁・国立環境研究所

《Ms. W》

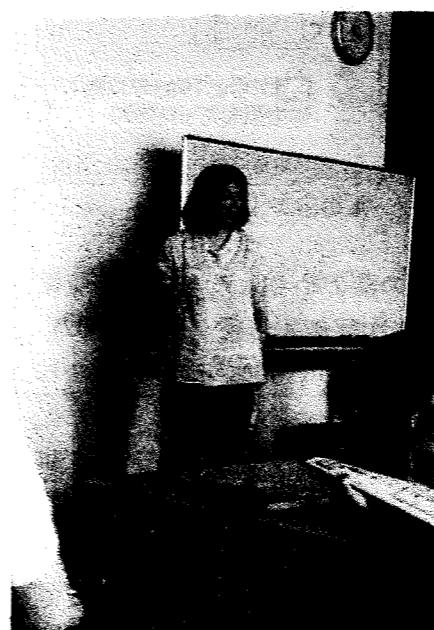
ファンドレイジング入門セミナー参加報告

NPOにとって大切な「技」という触れ込みのファンドレイジングセミナーに行っていました。連続3回のセミナーメニューは以下の通りでした。第1回目には参加できませんでしたので、第2回、第3回についてレポートします。

- 第1回 7/28 「寄付集めに皆で取り組むチームづくり」
- 第2回 8/11 「潜在支援者と出会いつながるためのスキル」
- 第3回 8/18 「情報公開による信頼性の向上と仮認定のメリット」



第2回目の講師は、NPO法人かものはしプロジェクトの山元さんです。かものはしプロジェクトは、カンボジアで児童の買春防止の活動をするNPO法人です。会員は3,000名、寄付者100名、協賛企業100社、プロボノボラ450名、インターン生10名というからすごい規模です。山元さん曰く「会費、寄付収入こそがNPOという運営形態の最大の強み」だそうで、マーケティングやマネジメント等のビジネス手法をNPO経営に生かされている事例をお聞きしました。



▲語るエコけん代表 清水

第3回目の講師は、NPO支援東京会議所属の税理士の岡田さんです。法人数で右肩上がりに増えているのはNPO法人だけとのこと。具体的な経理の方法を熱くかつさくさくと教えていただきました。引き続き、福岡県で初めての仮認定NPO法人として、そのメリット等について清水がお話ししました。思いもかけず、後日セミナー参加者からしろくまプロジェクトにご寄付がありびっくりしました。講演会で寄付者獲得は1%程度とのことですからとびきり嬉しい出来事でした。

現在、NPO法人は全国に48,000団体程あるそうです。その先頭集団を走る団体の方のお話しは刺激的でした。セミナー参加者はファンドレイジングの個別支援を受けることができますので、エコけんもさらなるパワーアップを期し、支援を申請しました。

《S》



ほっとカフェ

わが家では、青とうがらしを年間通して愛用しています。ビニール袋に入れ、冷凍保存で、いつでもお料理可能。ピリ辛料理やみそとの相性が良く、楽しんでいます。



《Kまま》

福岡県 親子リサイクル探検隊! 今年も無事終了!

今年も福岡県の委託を受け、「夏休み親子リサイクル探検隊」と銘打った親子で楽しく3Rを学ぶバスツアーを実施しました。

両日とも、猛暑の中よく歩いた1日でしたが、参加者にはご満足いただけたようです。アンケートでは、「3Rの大切さを感じた」「自分にできることをやろう」という感想をたくさんいただきました。一生懸命取り組んだ甲斐があったと、胸をなでおろしました。

《ひら》

7月24日(水) 食コース

古賀市の施設を見学体験しました。
「日本食品株」「小寺油脂株」「エコロの森」



工場での3Rの取り組みを聞きました。お肉から製品になる過程を見学しました。
できたソーセージを触ってうれしそうでした。
(見学用のソーセージです。)日本食品株にて

保護者にダントツ人気の九州大学(工学研究院地球資源システム工学部門)。小型家電リサイクルについてわかりやすく学びました。学生さんに、体験を交えて指導していただきました。



8月7日(水) 技術コース

「九州大学」「株環境エイジェンシー」「株マルチ」と福岡市西区の施設をめぐるしました。

かえっこバザール in イオンモール福津

9月28日(土) 13:00~16:00

- おもちゃの交換の「かえっこショップ」(子ども対象)
- 本の交換の「かえっこブック」(大人対象)

《参加協力》 温暖化防止活動推進委員 ふくおか湿地研究会

今回は、子どもだけでなく「かえっこブック」や「うちエコ診断」など大人も楽しめます。
2F イオンホールまで、ぜひ、遊びにきてください。



未来を創るインタビュー

No.29 玄界環境組合 古賀清掃工場 場長
中村 真一郎 氏

連日猛暑日が続く中、4月に古賀清掃工場の工場長に赴任された中村真一郎氏にお話を伺いました。同じエコロの森内の施設に勤務していますが、場長のおられる建物とは目と鼻の先にもかかわらず、なかなかお目にかかる機会が無く、今回はじめてご挨拶をさせていただきました。

場長は、この春、新宮町役場から清掃工場にみえました。元々古賀市出身でお住まいも古賀でした。小学校6年から柔道を習い始められたそうです。その後も続けられ、社会人になられてからは、ボランティアで小中学生対象の社会教育において、26年間もご指導を続けられたそうです。場長は、「教え子が財産」とおっしゃってましたが、なかなかできないことだと頭が下がりました。

- Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか
- A. お互いの個性を認め合い、尊重し、思いやりの心を育てていくこと
- Q. そのために
- ご自身で心がけておられることは
- A. 家庭教育に参加。子どもと向き合い、考えるヒントを与えるようにしている



未来を創るメッセージ

自分の大切さとともに 他の人の大切さを認めよう

昨今、テレビニュースでは、痛ましいニュースが目につきます。その背景には、時として、家庭環境、家庭教育の影響も否定できないのではと感じることもあります。一方、子どもは地域の宝とよく言われますが、地域の大人として地域あげての子育てにどれだけ関わっているだろうかと改めて考えさせられました。

《Kまま》

雨天中止

1% 2-7

次回のぼらんず ※ぼらんずとは、毎月のボランティア活動です。

10月0日 () 15:00~1時間程度 エコロの森周辺

仮認定 NPO 法人



〒811-3114 福岡県古賀市舞の里5-24-13
[TEL/FAX] 092-944-6450 [mail] eco_ecoken@ybb.ne.jp
[HP] http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken